

令和5年度

当初予算の概要

財政局課 (☎ 82-1131)



令和5年度 各会計予算額

山陽小野田市の令和5年度の予算が決まりましたので、お知らせします。

一般会計予算額は、前年度比2.3%増の314億6,300万円となりました。また、特別会計と公営企業会計を加えた予算総額は、1.8%増の847億8,412万円となりました。

会計名		令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減率
一	一般会計	314億6,300万円	307億5,000万円	2.3%
特別会計	駐車場事業	4,664万8千円	3,253万6千円	43.4%
	国民健康保険	70億8,240万7千円	71億9,603万6千円	△1.6%
	介護保険	67億4,283万6千円	67億1,159万円	0.5%
	後期高齢者医療	12億574万5千円	12億6,498万6千円	△4.7%
	小型自動車競走事業	254億6,587万6千円	252億8,167万9千円	0.7%
	特別会計の計	405億4,351万2千円	404億8,682万7千円	0.1%
公営企業会計	水道事業	24億733万5千円	23億7,258万7千円	1.5%
	工業用水道事業	2億8,997万円	2億9,025万5千円	△0.1%
	病院事業	57億3,745万4千円	52億8,133万4千円	8.6%
	下水道事業	43億4,284万9千円	40億7,702万円	6.5%
	公営企業会計の計	127億7,760万8千円	120億2,119万6千円	6.3%
総	予算額	847億8,412万円	832億5,802万3千円	1.8%

一般会計の予算編成にあたって

令和5年度当初予算の編成にあたっては、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある一方で、物価高騰に伴う諸経費の増嵩の影響が大きく、厳しい状況の下での予算編成となりました。しかし、そのような中でも、中期基本計画に掲げた重点プロジェクトである「地域を創る」「ひとを創る」「まちの価値を創る」の『3つの創る』の視点に基づき、「活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田」の実現に向けた歩みを進めることができたと考えています。

まず、「地域を創る」では、地域運営組織やサステナブルな地域社会の形成に向けた取組、津波対策用屋外スピーカーの設置による安心・安全のための取組を進めます。次に、

「ひとを創る」では、中学生までの子どもの医療費の完全無償化など、子育て世代を支え、次代を担う子どもたちを育む環境の充実を図り、「まちの価値を創る」では、LABVプロジェクトやきらら交流館のリニューアル整備事業など、本市の魅力を一層高めるための取組を推進します。

令和5年度は、中期基本計画の2年目となります。これまで取り組んできた施策の更なる充実と、これに加えて新たな取組にも積極的にチャレンジすることにより、「協創」によるまちづくりの理念の下、市民のみなさまに住みよさを実感していただけるスマイルシティの実現に向けて、職員一丸となつて取り組んでまいります。